

研究構想シート	学校名	益田市立益田東中学校
	氏名	上原 友紀
A 研究主題 自ら学ぶ		
B 研究の目的 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて。		
<p>C 子どもの実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話活動を全教科で継続的に行っているため、対話することに対する抵抗はない。 ・自分の意見を班や学級全体で伝えることができる生徒が多い。 ・東ミーティング（学級会）を計画的に行っており、充実した話し合い活動、生徒総会が行われている。 ・家庭学習に課題がある。 ・学習に対してやる気のない生徒が一定数いる。 	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <p>生徒の興味・関心を高める導入を行ったり、単元や授業の見通しを示したりすることで、主体的な学びのきっかけとなるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で生徒の興味・関心を高める導入を行う。→写真の提示、大きな問いの設定、生徒の予想を超える内容の提示、クイズでの導入、手本を見せるなど各教科、各自で計画 ・単元や授業の見通しを示す。→授業の焦点化、視覚化、共有化。ゴール（なりたい姿）の設定。単元ごとの見通し。 <p>F 検証方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で具体的にどのような実践を行ったのかの資料を集める。またその実践により、生徒がどのような反応をしたのかを、生徒観察し、記録しておく。校内研修において全体で共有する。 ・生徒のふりかえりやワークシートをもとに、生徒の変容等を観察する。 <p>G 研究計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4月 研究職員会議 <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題や重点目標を伝える。各教科で具体的にどのような実践を行うかを話し合う。 ○夏休み 研究職員会議 <ul style="list-style-type: none"> ・導入の工夫に関する研修（指導主事を招いて） ・1学期の取り組みのふりかえりと2学期の取り組みに向けて考える。 ○2学期 授業研究 <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事を招き、指導案検討を全員で行う。その後授業参観し、全員で研究協議を行う。 ○2学期終わり 研究職員会議 <ul style="list-style-type: none"> ・2学期の取り組みのふりかえりと3学期の取り組みに向けて考える。 ○3学期 研究職員会議 <ul style="list-style-type: none"> ・来年度に向けて 	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>互いに協働したり、様々な「対話」から考えたりすることを通して、自ら進んで学ぶことができる生徒</p>